

呉工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	工業英語	
科目基礎情報						
科目番号	0015		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	プリントを配布					
担当教員	森脇 武夫					
到達目標						
1. 建設分野で使われる技術用語が理解できる。 2. 建設分野に関連した英語の文献が読解できる。 3. 建設分野に関連した簡単な技術文を英語で書くことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	建設分野で使われる技術用語が適切に理解できる。		建設分野で使われる技術用語が理解できる。		建設分野で使われる技術用語が理解できない。	
評価項目2	建設分野に関連した英語の文献が適切に読解できる。		建設分野に関連した英語の文献が読解できる。		建設分野に関連した英語の文献が読解できない。	
評価項目3	建設分野に関連した簡単な技術文を英語で適切に書くことができる。		建設分野に関連した簡単な技術文を英語で書くことができる。		建設分野に関連した簡単な技術文を英語で書くことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
JABEE環境都市工学プログラム (B) 本科 (HA)						
教育方法等						
概要	建設分野においても国際化が進み、技術者として業務を遂行するためには高い英語能力が要求されてる。この授業では、建設技術に関連した英語の文献を読み、建設技術に関連した英文で使われる技術用語を理解し、建設技術英文に対する読解力を学習する。また、建設技術に関連した英文作成を行い、英語による表現力を学習する。					
授業の進め方・方法	ピサの斜塔に関する文献を講読するとともに、技術論文で使う英文の作成を行う。					
注意点	単位取得にはすべての課題に提出が必須である。 英語は外国語ではなく、国際共通語として身につけておく必要がある。また、TOEIC、英語検定試験、工業英語検定試験などに挑戦し、自分のレベルを知るとともに、レベルアップを図ることも重要である。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	文献1の講読	歴史的背景		
		2週	文献1の講読	地盤特性		
		3週	文献1の講読	地盤特性		
		4週	文献1の講読	地下水		
		5週	文献1の講読	塔の構造		
		6週	文献1の講読	観測結果		
		7週	文献1の講読	現在の状態		
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	文献2の講読	塔の歴史		
		10週	文献2の講読	塔の構造		
		11週	文献2の講読	地盤条件		
		12週	文献2の講読	塔の不安定性		
		13週	文献2の講読	検討委員会		
		14週	文献2の講読	一時的対策		
		15週	期末試験			
		16週	文献2の講読	恒久敵対先		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	前1,前2,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16
			英語運用能力の基礎固め	毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	前1,前2,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16
			自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	前4,前7,前11,前13	

				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	前1,前2,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	前4,前7,前11,前13

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	80	0	160
基礎的能力	80	0	0	0	80	0	160
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0